

作品カード

作品名	ゴムかけ（可動式）
制作者(学部)	小学部 2年
使用する場面 目的	基礎 日常生活 手指操作の向上
使用方法	<ul style="list-style-type: none"> 右利きの児童であれば、木ブロックを左側、輪ゴムを右側にした状態で提示する。 児童がこの教材を見て、自分で意図を理解できるかを見るために、最初は言葉かけはしない。 意図が分からぬようであれば、手本を見せる。その際、マジックペンの色と輪ゴムの色をマッチングさせるよう伝える。 ゴムをかけることができたらおわりBOXに入れるよう伝える。または、教員に「できました」と伝えて渡すように伝える。
作品の説明 制作にあたっての意図や工夫および効果 など	<p>【意図】</p> <ul style="list-style-type: none"> 左右で異なる手の動きをする経験を積むこと。巧緻性を高めること。 <p>【工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ただゴムをかけるだけでなく、色弁別の要素を入れることで、より注目、集中して取り組めるような工夫をした。

